博士論文のインターネット公表（自治医科大学機関リポジトリ掲載）の保留事由に係る報告書

　　　年　　月　　日

自治医科大学大学院

　看護学研究科長 春山　早苗　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学位区分 | * 課程　　　　□　　論文
 | 学位の種類 | 博士（看護学） |
| 学位授与日 | 　　　　　年　　　月　　　日 | 学位記番号 | 　 |
| 論文提出時所属 | 　 |
| ふりがな | 　 |
| 氏名 | 　 |
| 学位論文題名 | 　 |
| 現在の連絡先 | 住所：〒 |
| 電話：　 | Email： |
| 指導教員名 | 　 |

　私が執筆した博士論文(全文)について、インターネット公表の保留事由については、以下のとおりとなりますので報告します。

（以下の□にチェックしてください。また必要箇所には記入して下さい。）

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、博士の学位を授与された日から１年を超えてインターネットの利用により公表することができない。 |
| □ | 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から１年を超えてインターネットの利用により公表することができない。 |
| □ | 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から１年を超えて生じる。 |
|  |  |
| （具体的な事由を記載） |

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 上記理由により博士論文（全文）は公表できませんが、博士論文の要約での公表を希望します。 |

※博士論文の要約での公表

・博士論文の全文を公表できない場合、博士論文を要約したものを公表することができます。別紙「博士論文の要約に関するガイドライン」に従って可能な限り公表すること。

・「やむを得ない事由」が無くなった場合には、博士の学位を授与された者は当該博士論文の全文を公表すること。

論文①

|  |  |
| --- | --- |
| 主要論文題名 | 　 |
| 出版又は掲載日 | 　 |
| 出版物等の種類 | 学会誌　・　学内誌　・　学術雑誌　・　単行本　・　その他（　　　　　　　　　） |
| 出版物等の名称 | 　 |
| 出版社等の名称 | 　 |

論文②

|  |  |
| --- | --- |
| 主要論文題名 | 　 |
| 出版又は掲載日 | 　 |
| 出版物等の種類 | 学会誌　・　学内誌　・　学術雑誌　・　単行本　・　その他（　　　　　　　　　） |
| 出版物等の名称 | 　 |
| 出版社等の名称 | 　 |

論文③

|  |  |
| --- | --- |
| 主要論文題名 | 　 |
| 出版又は掲載日 | 　 |
| 出版物等の種類 | 学会誌　・　学内誌　・　学術雑誌　・　単行本　・　その他（　　　　　　　　　） |
| 出版物等の名称 | 　 |
| 出版社等の名称 | 　 |